

2017年度 経済学部 研究プロジェクト 最終報告会 プログラム

Final Presentations of Independent Research Project, Faculty of Economics, 2017

2018年2月2日(金) 10:30-16:30 日吉来往舎 シンポジウムスペース

February 2, 2018, Symposium Space, Raioosha Building, Hiyoshi Campus

【第1部】

	発表者	指導教員	発表タイトル
10:30-10:35	開会の挨拶		
10:35-11:00	長坂 直哉	長田 進	地域と大学を繋ぐコーディネーター機能に関する一考察
11:00-11:25	間 てん太	長田 進	装いを変える東京一極集中論 ―その形成と変遷―
11:25-11:50	友野 雅樹	長田 進	コンテンツツーリズムにおける行政の役割～アニメ作品における事例を中心として～
11:50-11:55	休憩		
11:55-12:20	山崎 和佳奈	志村 明彦	質的研究を用いた日本の高等学校英語学習における動機減退とその回復の解明
12:20-12:45	林 駿	鈴木 亮子	対面会話における笑いの身体動作―性差はあるのか?―

【第2部】

13:45-14:10	安西 ちまり	光田 達矢	日本型バレンタインデーからみる女性たちの望んだ在り方―1950年代から90年代、少女期メルヘンを読む―
14:10-14:35	越川 祐斗	大西 広	遊牧式生産方式の展開に関する実証研究:中国新疆のカザフ族牧民を対象として
14:35-15:00	中井 正和	坂井 豊貴	ケイパビリティと日本の貧困
15:00-15:05	休憩		
15:05-15:30	木本 遼	北尾 早霧	ベーシックインカムの実現可能性
15:30-15:55	齋藤 建文	大垣 昌夫	カデンツの法則の経済理論と実証分析:コード進行の歴史的発展法則
15:55-16:20	清水 祐弥	大垣 昌夫	自信過剰と携帯電話の料金プラン選択に関する行動の実証研究―仮想質問を用いたアンケート調査―
16:20-16:30	講評 (コーディネーター)		

★ 報告会終了後、日吉来往舎ファカルティラウンジで意見交換会を行います。